



石垣市健康福祉センター 保健師 東迎 和美

日本人の最大の死因である「がん」、3人に1人が「がん」で亡くなっており、およそ2人に1人が、生涯において一度はがんにかかるであろうと推計されています。石垣市においても、死亡総数の3分の1～4分の1が「がん」で亡くなっている状況があります（下表参照）。

		平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
死亡総数		402 人	450 人	416 人
死因	第 1 位	悪性新生物（がん） 93 人	悪性新生物（がん） 123 人	悪性新生物（がん） 98 人
	第 2 位	心疾患 55 人	脳血管疾患 59 人	心疾患 54 人
	第 3 位	脳血管疾患 52 人	心疾患 58 人	脳血管疾患 54 人

がんで亡くなった方を部位別でみると、「気管・気管支及び肺」が最も多く、次いで「大腸」、「胃」の順となっています。がんのもとになる細胞は誰の体にも存在し、それがいつ急に大きくなるのかはわかりません。そのため定期的に検診を受けることが必要です。元気なときから定期的ながん検診を受けることに加え、がんのリスクを減らす健康習慣を心がけましょう（下図参照）。



石垣市で実施しているがん検診は、「胃がん」「大腸がん」「肺がん」「前立腺がん」「子宮頸がん」「乳がん」の6つです。大腸がん検診、肺がん検診、前立腺がん検診は特定健診の会場で同時に受けたり申込みしたりできます。子宮頸がん検診・乳がん検診は、毎年9月上旬に集団検診が行われます。今月（10月）15日から胃がん（胃カメラ）検診が始まります。胃カメラ検査（胃内視鏡検査）は、1cm程の細長い管を口から挿入し、食道・胃・十二指腸の中を直接観察することができる検査です。予約制となっていますので、詳しくは石垣市健康福祉センター（TEL 88-0088）へお問い合わせください。

## 平成30年度コミュニティ助成事業実績報告

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施するコミュニティ助成事業は、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する目的で行なわれています。

平成30年度は、下記団体が宝くじの助成金で実施しました。

【一般コミュニティ助成事業】  
空調機器の整備（新川字会）

